

提出日：平成 28 年 5 月 16 日

平成 27 年度 大阪大学蛋白質研究所 拠点事業

(2) 研究成果の概要

課題名	ポリユビキチン線維とユビキチン関連蛋白質の構造解析		
研究代表者	氏名	菅瀬 謙治	
	所属機関名・部局名	京都大学 大学院工学研究科	
	職名	准教授	
事業名 (該当の事業名の右欄に○)		<input type="checkbox"/>	共同研究員
		<input type="checkbox"/>	国際共同研究課題
		<input checked="" type="checkbox"/>	超高磁場NMR 共同利用研究課題
		<input type="checkbox"/>	客員フェロー
蛋白研受入担当教員名	児嶋長次郎		
<p>当研究室の NMR 装置が使用不可能な状態であったため、蛋白質研究所の NMR 装置を利用させてもらった。K48-linked di-ubiquitin と K63-linked di-ubiquitin を対象として、^{15}N $R_{1\rho}$ relaxation dispersion 測定のパルスプログラムの調整、および、SOD1 を対象として ^{15}N R_2 relaxation dispersion 測定のパルスプログラムの調整を行った。^{15}N $R_{1\rho}$ relaxation dispersion 測定では、論文発表されているパルスプログラムに基づいて測定を行ったが、そのパルスプログラムの設計に問題あったため満足なデータを取得することができなかった。^{15}N R_2 relaxation dispersion 測定では、pseudo 3D 測定をセットアップし期待する relaxation dispersion カーブが得られた。また、選択的に ^{19}F 修飾した SOD1 の 1D ^{19}F 測定を行ったが、感度が低すぎるため、目的のシグナルを観測できなかった。</p> <p>現在は、当方の NMR が復帰したため問題なく測定できる環境となった。ただし、蛋白質研究所の高磁場 NMR の感度は魅力的であるため、今後も必要に応じて、超高磁場 NMR 共同利用研究課題、の応募を検討したい。</p>			

※本様式は、“拠点事業成果報告”として、拠点ホームページにて公開させていただく予定です。

※必ず A4 用紙 1 枚におさめて下さい。 ※提出期限：平成 28 年 5 月 20 日（金） ※提出の際は PDF 変換して下さい。

※提出先：大阪大学蛋白質研究所拠点プロジェクト班 E-mail: tanpakuken-kyoten@office.osaka-u.ac.jp